

仙台市地域防災計画（中間案）パブリックコメント実施結果について

1. 実施概要

地域防災計画中間案及び中間案概要版を市ホームページにて公表するとともに、各区役所・総合支所、市民センターに配布し、下記のとおり意見公募を行った。併せて、各区・総合支所管内において市民説明会を開催し、質疑応答を行った。

- (1) 意見公募方法：電子メール、市民説明会会場での質疑、公募用紙による提出等
- (2) 意見公募期間：平成 24 年 12 月 1 日～平成 25 年 1 月 6 日

○市民説明会実施状況

会 場		参加者数
12月8日（土）	泉区役所東庁舎 5 階大会議室	59 名
12月8日（土）	太白区役所 5 階ホール	41 名
12月9日（日）	若林区文化センター2 階セミナー室	36 名
12月9日（日）	宮城消防署 3 階講堂	25 名
12月15日（土）	市役所本庁舎 8 階ホール	40 名
12月16日（日）	仙台サンプラザ 3 階宮城野	13 名
12月16日（日）	秋保総合支所 2 階大会議室	18 名
計		232 名

○ その他

下記の会議の場において中間案の概要について説明を行いました。

会議名	対 象	参加者数
若林区要援護者名簿交付説明会	町内会長等	130 名
太白区災害対策総合検討委員会（3 者協議会）	連合町内会長、地区社会福祉協議会会長、地区民生委員児童委員協議会会長等	180 名
太白区要援護者名簿交付説明会	町内会長等	100 名
計		410 名

2. 意見提出数等

- (1) 意見総数 179 件（100 人・団体）
- (2) 意見内訳 電子メール、公募用紙等 93 件（36 人・団体）
市民説明会での質疑 86 件（64 人・団体）

3. 分類別の件数及び主な意見

主な意見等	件数
(1) 津波対策	
○ 沿岸部の道路の整備が必要ではないか ○ 津波避難において、高さで逃げる手段（避難施設）について説明してほしい	7
(2) 避難対策	
○ 地震・津波災害対策編にも土砂災害の記述があり、避難所等も多岐にわたりすぎており分かりづらい ○ 要援護者の支援はどうするのか	4
(3) 避難所体制整備	
○ 障害者の避難所として市民センター等を活用してほしい ○ 指定避難所までは遠いため、身近な集会所を避難所とさせてほしい	36
(4) 物資対策	
○ ガソリン等燃料への対応はどうなっているのか ○ マンションにも町内会と同様に物資を供給してほしい	20
(5) 災害時要援護者支援	
○ 要援護者名簿の取扱いについて留意が必要ではないか ○ 福祉避難所の位置づけをどのように考えているのか	17
(6) 防災訓練	
○ 今後どういった防災訓練のあり方を考えているのか ○ 防災訓練にNPOやボランティアの参加を促すべき	7
(7) 災害協定	
○ 道路交通の確保や避難所等の安全確認について民間事業者との連携をさらに促進してほしい	3
(8) 災害ボランティア	
○ NPO、NGOとの災害時の活動支援の体制整備をしてほしい	11
(9) 地域防災リーダー	
○ 地域防災リーダーの位置づけをもっと明確にしてほしい ○ 地域防災リーダーの養成や地域での活用に力を入れるべき	7
(10) 帰宅困難者対策	
○ 指定避難所以外に帰宅困難者を受け入れできる施設を設けてほしい ○ 民間事業者に物資の備蓄等に関して条例化する考えはあるか	8
(11) 自助・共助の推進	
○ 「自助」の広報はどのように行っていくのか ○ 家具の転倒防止や家庭内備蓄など、避難所に行かなくて済むような「自助」の啓発を行うべき	13
(12) 地域別対応	
○ 地域防災計画改正後、避難所の指定等に関して地域ごとに説明会を開催してほしい ○ 地域版の避難所運営マニュアルの作成に関して、市としてバックアップしてほしい	4
(13) ライフライン整備	
○ ガス、電気、水道等の災害対策を公表すべき	6
(14) 計画全般	
○ 計画をより読みやすく、コンパクトにすべき ○ 原子力災害対策編はいつごろ出来上がるのか	21
(15) その他	
○ 災害時に市民からの問い合わせ窓口を設け、ワンストップサービスを実施すべき	15
総 計	179